

特定非営利活動法人ここらねっと設立趣旨書

現代では、不登校、引きこもりやニートと呼ばれる社会参加ができない子どもや若者が急増しています。更に、その状態のまま中高年期を迎えた方や、生きがいを見出せずにとじこもりがちな高齢者など、様々な年齢層において社会とのつながりを閉ざしている方々が急増しており、本人はもとより家族にとっても多くの辛さや苦勞を伴う大きな社会問題ともなっています。また、気分障害、不安障害などの様々な精神疾患を抱えている方々も多く、心療内科や精神科の受診の急増にもつながっていると考えられています。とりわけ性的被害にあわれた方々は、人に打ち明けること自体に精神的負担が大きいため、支援も得られないまま社会から断絶されており、早急に取り組まなければならない必要性があります。

社会とのつながりを閉ざしている方々への支援は、医療機関、保健機関、福祉機関、教育機関という地域の専門機関が単一及び連携しながら実施されていますが、きめの細かい支援は、時間や人員等の制約もあり、公的な機関の範疇では十分に行えないのが現状と考えられます。

そのために、私たちは、自らに向き合い自分自身の可能性に気付くためのカウンセリングや、気持ちを理解する仲間との交流が、社会復帰への第一歩の支援として必要と考え、次のような活動を行ってきました。①忍野村「忍野コミュニティファーム」による農業・自然体験、②被災地の石巻市、東松島市へのボランティア活動、③東京都町田市「仮暮らしの会」による当事者の思いを語る集い、得意分野を生かしたイベントの企画などをボランティアやカウンセラー、社会復帰をされていない方々と一丸になり実施してきました。これらの活動を通して、多くの参加者が“誰かのために役に立てる”ことを実感し、自信と希望を取り戻しました。更に、同じような辛さを抱えている方々のために役に立とうという好循環が生まれてきました。

このような経緯により、私たち設立人は、これらの事業をさらに充実し安定させ他の支援団体との協働も視野に入れるために、この度独立した法人を立ち上げることを決定した次第であります。

以上、「特定非営利活動法人ここらねっと」は、メンタルの不調や精神疾患などにより社会とのつながりを閉ざしている方々に対して、『ここら』の一步に焦点をあて、カウンセリングおよび支援事業を通して、社会復帰の実現に向けて支援していくことを目的として設立いたしました。

皆様のご理解と幅広いご支援をお願いいたします。

平成26年8月16日
設立代表者 池亀厚子